

NEWS RELEASE

平成20年12月20日
国土交通省中部地方整備局

1. 件 名：平成21年度中部地方整備局の新規採択事業
(内示) について

2. 概 要： 平成21年度予算財務省原案に関して、中部地方整備局関係では
「てんりゅうがわ天竜川ダム再編事業さいへんの建設着手」、「なごやこうなべた名古屋港鍋田ふ頭地区国際コン
テナターミナル整備事業」の2事業が新規事業として内示を受けたの
でお知らせします。

なお、中部地方整備局の全体予算ならびに各事業の事業費につき
ましては、平成21年度政府予算成立後にお知らせします。

3. 配 布 先：中部地方整備局記者クラブ
名古屋港記者クラブ

4. 問合せ先：国土交通省 中部地方整備局

企画課長 阿部 俊彦
〔電話〕 (昼間) 052-953-8127 (夜間) 090-3154-2993

新規事業箇所

てんりゅうがわ さいへんじぎょう
天竜川ダム再編事業

1. 事業概要

天竜川中流部にある利水専用既設ダム（佐久間ダム）を有効活用し、新たに洪水調節機能を確保するとともに、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久堆砂対策施設を整備し、洪水調節機能の維持を図ります。

事業主体

直轄

事業期間

平成16年度～33年度
 （平成16～20年度迄は実施計画調査）

全体事業費

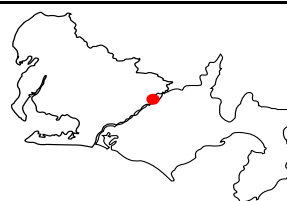
約790億円

2. 整備効果

天竜川ダム再編事業の実施により、これまで幾度となく洪水被害に見舞われてきた天竜川中下流部における洪水被害の軽減やダム下流の河川環境の再生、海岸侵食の抑制等を図ります。

事業箇所

右岸：愛知県北設楽郡豊根村
 左岸：静岡県浜松市天竜区佐久間町



■佐久間ダム(S31年完成)

■天竜川河口部では長期的な
 海岸侵食が進行



昭和62年



平成17年

新規事業箇所

なごや こうなべた とうちく
名古屋港 鍋田ふ頭地区
こくさい かいじょう すいしん (たいしん) せいび じぎょう
国際海上コンテナターミナル(水深12m)(耐震)整備事業

1. 事業概要

名古屋港は、中部圏のものづくり産業等を支える中枢国際港湾であり、背後圏に立地する製造業等の国際物流拠点として、欧州・北米の基幹航路や中国を中心とする近海航路を含め週80便を超える国際定期航路が開設されています。

このような中、東海3県（愛知県、岐阜県、三重県）を中心とする荷主企業の経営展開によるコンテナ貨物量の増大に対応するため、新たなコンテナターミナルの整備が喫緊の課題となっています。また、大規模地震発生時においてもコンテナ輸送機能が維持されるよう耐震強化岸壁の整備が強く求められています。

このため、本事業は、現在、バース不足によりコンテナ船の滞船（沖待ち）が発生している鍋田ふ頭地区において、新たに国際海上コンテナターミナルを整備するとともに、大規模地震への備えとして耐震強化を図る事業に、平成21年度より新規着手するものです。

事業主体

直轄、名古屋港管理組合

事業期間

平成21年度～平成27年度

全体事業費

約264億円

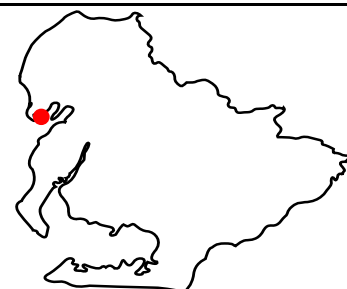
事業箇所

あいちけんやとみし
愛知県弥富市

2. 整備効果

本事業の実施により、名古屋港のコンテナ取扱能力が向上することで、コンテナ船の沖待ちなどの非効率な状況を改善し、地域産業の国際競争力の強化を図ります。

また、大規模地震発生時においても国際海上コンテナ物流機能を維持することで、地域経済への影響を軽減します。



名古屋港鍋田ふ頭地区国際海上コンテナターミナルについて

今般、財務省からの平成２１年度予算の内示で、名古屋港鍋田ふ頭地区国際海上コンテナターミナルについて新規着工が認められました。

長年の地元の悲願に大きく一歩踏み出したことは誠に喜ばしいことであります。

当該ターミナルは、飛島ふ頭南側コンテナターミナル（ＴＣＢ）など他のターミナルと連携し一体となって、スーパー中枢港湾名古屋港の機能と国際競争力を強化し、アジアゲートウェイをめざすものです。

中部地方整備局としては、今回の要求はＴＣＢの有効利用が前提となっていることから、引き続きＴＣＢが予定通り活用されるよう必要な支援を行うなど、名古屋港鍋田ふ頭地区国際海上コンテナターミナルの１日も早い供用に向けて全力で取組んで参りたいと考えております。また、港湾管理者においても、さらなる利用促進にむけた取り組みを期待したい。